

課外活動でしなのふれあい公園へ行きました。噴水でずぶぬれになるまで遊びました。



おしゃり

No.258
平成 26 年 6 月 10 日発行
社会福祉法人円福会
円福寺愛育園
園長 藤本光世

子どもを幸せに、職員を幸せにする施設

新年度となり 2 ヶ月が過ぎました。

子どもたちのお参りの声が大きく園内に響きます。「はきものをそろえる」の声も大きく近隣に響きます。球技大会の練習が本格的になってきました。野球の練習は走り込みです。青谷副園長から「今年は手を抜く子が一人もない。小学校 1 年生の子が 5 キロも走る。中学 1 年生が 10 キロも走る。」と聞いて、千曲川の土手に行きました。みんな、岩野橋までの往復を全力で走っています。中高生は二往復 5 キロ、小学生は 3 キロを走ってからダッシュです。とっっても小さな 1 年生の男の子が 3 キロを初めて走り続けることができたと言っています。ダッシュも全力です。それは顔つきからわかります。何本もやります。見ていて、若さっていいなあとうらやましくなります。終わって、監督の指導に「ハイッ！」という声を揃えた大きな返事が何度も響いていました。引き締まっていて、学校の部活動のようにすごいです。

児童養護施設の目的はなんでしょう。それは、子どもを幸せにすることです。子どもの幸せとはなんでしょう。それは、心の悪を断ち切って、社会で立派に自立していくことです。このことが幸せな一生につながるのです。自由だ、自由だ、子どもの権利擁護だと誤った自由と権利擁護を振り回して、子どもの言うように生活を許すことが、幸せにつながるのでしょうか。例えば、世の中の危険と隣り合わせの携帯電話を、責任も持たずに持たせることが幸せにつながるのでしょうか。人生はある意味では「煩惱の炎」との闘いでもあります。悪い方向に向かう心の芽を小さなうちに摘んで、正しい生活を繰り返し教えて身につけさせ、今やるべきことに真剣に取り組ませなければなりません。そのように行動を

園長 藤本光世



律することにより心を変え、幸せを呼び込むことができるのです。

先日の朝のお参りの時に青谷副園長が「今、目標をもって一生懸命生活している人は手を挙げなさい。」という、すぐに野球部の子が手を挙げ、それにつられるように高校生の子が二人手を挙げました。自信を持って挙手できる子どもたちが増えれば、当園はもっともつとよくなり、相互作用を起し、子どもたちを幸せにすることができるでしょう。

翻って見ると、それは職員を幸せにすることなのです。職員が真の幸せな人生を進むことなのです。なぜでしょう。それは、子ども達の心を変えるには、職員がその子のために本気にならないとできない仕事なのです。子どもたちと向き合い、子どもたちの心に入っていき、子どもたちの悪い心をぶった切って、すべてを子どもたちのために注いで初めて子どもたちを幸せにできるのです。これは「自他一如」であり、「利行は一法なり」であります。他を幸せにすることが自分を幸せにすることが真実であることを、お釈迦様をはじめとするお祖師様はいろいろな場面で示されているのです。だから、このことは職員を幸せにし、職員の家族を幸せにする最上の道なのです。

世の中からは様々な雑音が聞こえてきます。いろいろな誘惑もあります。それらに惑わされずに、今の愛育園の養育が社会的養護の真実であることを確信し、子どもの事実で示します。真実の児童養護の道を拓きます。

行事

写生大会 in 八幡原！！

写生大会係 山口 亮

5 月 31 日に川中島古戦場にある八幡原にみんなで写生大会へと行きました。今年で 3 年目となる八幡原という事で子ども達も手際よく用意を手伝ったりと協力する姿が見られました。写生大会では自転車班と車班に分かれて移動となります。小学校高学年～高校生と自転車班の職員は車班より 30 分ほど早く出発となりましたが、さすが現役といったところでしょうか移動スピードはギアを変え力強くペダルを踏んですごいスピードで発進していきます。私も負けずと追いつこうとしましたが、そのスピードには追いつけず、夏に差し掛かるほんのり暑い風を浴びながら、残



りの子ども達とサイクリングコースを走っていきました。さて、八幡原に着き道具を配り終え、各自自分の書きたい場所へ行き絵を描き始めました。難しい武田信玄像と上杉謙信像を描く子、池の周りに咲いていた花や木を描く子、描くものは色々でしたが、自分でどうやったら上手く描けるか絵の上手い職員に何度も聞いていたり、自分の描いた絵を上手に描けたよと見せてまわっている姿もありました。1人1人違う個性を生かしながら描いた絵は大作が多く集まりました。調理の先生が用意してくださったお昼を食べた後はみんなで川遊びをして楽しみました。泥だらけになったり、びしょりになったり職員も子どもも一緒に川へつかって泥んこになって遊びました。水に抵抗のある子どももいつの間にか足だけ浸かっていたりと、こちらも色々な楽しみ方があったようです。帰りも自転車で帰って来ましたが、さすがに疲れもあったのか涼しい風をあびてゆっくりと帰ってきて写生大会は終わりとなりました。

GW 行事 まごころ・そよかぜホーム長 石崎 早織

今年度もみんなが楽しみにしていたGW行事が行われました。今年は東飯縄高原に行ってきました。まずはBBQからスタートです。中高生は荷物を一生懸命運び、材料の準備、コンロの準備を率先して行ってくれました。



火を熾す時は小学生も手伝ってくれ、あっという間に準備は完了!! たくさんのお肉やお野菜を焼き、みんなでおいしいね〜と話ながら食べたり、自分より小さい子どもにまず食べ物を盛ってあげる優しい姿も見られました。最後は焼きそばで締めくくり。お腹一杯になり子どもたちも大満足の表情を浮かべていました。

お腹がいっぱいになった後は、みんなでサマーボブスレーをやりました。幼児さんは職員と一緒に長い滑



り台を滑ってきました。「風が気持ちいいね」「あんなに遠くまで見えるね」などたくさんの会話を楽しむ事が出来ました。天気にも恵まれとても楽しい1日を過ごす事が出来ました。

あおぞらホーム食 うどん作り ホーム長 富沢正樹

4月27日、今年度最初のあおぞらホーム食は「手打ちうどん」をメニューに決め、みんなで楽しく作って食べました。

小学生から高校生までの男の子たちが全体重を乗せて踏み込んだ生地、完成はものすごくコシの強いうどんになりました。子ども達もコシの強さに



「こんなうどん食べたことない」という驚きとともに「うまい、うまい」と力いっぱいうどんを吸い込んで食べていました。

調理の先生には、「色々な味があつたら楽しいはず」と3種類のつけ汁を用意してもらいました。「ひき肉たっぷり中華風ピリ辛つけ汁」「なすと豚肉の坦々つけ汁」「ねり黒ゴマときゅうりの和風つけ汁」、どれもこれもおいしいつけ汁で、アツという間に食べきってしまいました。

一頃に比べるとホーム食の回数が増えてまいりまして、男の子たちも料理を身近に感じられているように思います。今回のうどん作りも、「こねて、のばして、切る」という工程をスムーズに進めていきました。ちょっと前までは「失敗したくないから」とか「興味ないから」と何のかんのと理由をつけて逃げ腰になる姿勢が見られたのですが、今では「できるかわからないけど、やってみる、やってみよう」という様子に変わってきました。ホーム食を楽しみにしている事や、普段の生活自体を前向きに過ごす児童が増えてきた事で、良い雰囲気でもホーム食を行っております。私自身も毎回楽しいです。



5月には、青空の下、外で火を起こして、「たこ焼きともんじゃ焼き」を作りました。



6月には、「冷やし中華とシューマイ」作りを行う予定です。子ども達もすでに楽しみにしていますので、張りきって準備を進めていきたいと思います。

課外活動5月の活動内容

課外活動係 酒井悠紀

新緑が目にもまぶしい季節となりました。そんな新緑にも負けない子ども達、この5月の課外活動は2回行われました。

1. 長野市 錬成センター



5月11日 爽やかな空の下、元気いっぱいの活動となりました。大きなアスレチックや急な斜面もなんのその。いつも以上にパワフルな子ども達でした。あまりにみんなが活動的だったので、途中から小学校1年生はお疲れモードの様子……。

まだまだ体力にも限りを感じられます。帰りの車内はとても静かに寝ていました。z Z Z。

2. 千曲市 しなのふれあい公園



5月18日 この日も暖かな陽気に包まれており、公園に行く前からソワソワの子ども達。ふれあい公園には噴水があり、昨年も何度か利用されてもら

っている子ども達に人気の公園です。出発前、着替えもって行ってもいい〜？と女の子。今日は少し寒いから噴水はいいや、地獄の鬼ごっこをしたい！と男の子。なんだか立場が逆転中の課外活動です。

しかし、到着するや否や、全員が噴水に向かっていきます。やはりそうなったか……それでも元気いっぱい、女の子も男の子もびしょびしょに濡れながら、初夏の陽気を楽しみました。

稲養生、スポーツ大会参加

保育士 富沢正樹

愛育園には稲荷山養護学校に5名児童が通っております。5月18日と5月24日と、それぞれ地区・市の障害者スポーツ大会があり、参加してまいりました。

	種目	地区	市
(高3)	50m走・100m走	優勝(大会新)	2位
T.Y (高3)	ジャベリックスロー	優勝	優勝(大会新)
(高2)	ソフトボール投げ	優勝(大会新)	2位
K.O(高2)	1500m走	優勝	優勝
S.Y (中3)	50m走	4位	優勝
高4名	50m×4リレー	優勝(大会新)	優勝(大会新)

好成績を収める事が出来ましたので、紹介させて頂きたいと思ひます。

高3君「50mは優勝できて嬉しかったですが、100mは2位で悔しかったです。」

T.Y君「練習の成果がでて嬉しいです。緊張しましたが練習通り出来ました。」

高2君「市の大会では油断して負けてしまつて悔しいです。どっちも優勝したかったです。」

K.O君「長距離走は得意中の得意なので自信がありました。次回は800mで優勝を狙いたいです。」

S.Y君 「優勝できて嬉しかったです。次は違う種目で優勝して、また喜びたいです。」

リレーでは学校の代表者4名が全員愛育園の児童から選抜され、更にどちらの大会も新記録を出して優勝しました。学校だけでなく、帰って来てからも4人でバトンパスの練習をしていた甲斐があったと思ひます。

園や学校で練習を重ね、良く頑張り、良い結果出たことでどの子も自信につながった様子でした。

笑顔咲いた 障害者スポーツ

【長野】長野市障害者スポーツ大会は、同市の長野運動公園でこのほど開いた。写真、福祉施設や特別支援学校などに通う身体、知的、精神障害の約220人が出場した。

短距離走や走り幅跳び、ハンドボール投げなどの陸上競技と水泳を実施。県稲荷山養護学校(千曲市)高等部3年の君17君は50m走の組で1位になった。「腕をしつかり振れた。練習通り走れて良かった」と笑顔を見せた。

市や市障害者スポーツ協会などで行われる実行委員会主催し、45回目。同協会の山岸泰会長(79)は「同市風間君は今年、ソチ冬季パラリンピックでアルペンスキーの狩野亮(かのう・あきら)選手(長野市)が活躍するなど盛り上がった。障害者スポーツへの理解が深まれば」と話していた。

今後も活躍できる場所を探して、積極的に色々な事にチャレンジさせていきたいと思ひます。

公用車の洗車

公用車主任 あおぞらホーム 石黒 玄章

今年度より、隔週の土曜日に公用車の洗車が始まりました。現在愛育園では3台の公用車があります。目的として日々移動で使用している公用車を、あおぞらホームで隔週の第二、第四土曜日の朝食後（予備日・日曜日）に洗車を行い、園の什物に対して感謝と物を大切にすることを高めるのが狙いです。園の子供たちは園の物品に対してどうしても「私の物」という意識が低く、無くなれば当たり前補充され、壊れれば職員を始め誰かが直してくれるという中で生活しているように感じます。何れ自立していく中で、物の有りがたさ、大切さをこの洗車を通じて感じてもらいたいと思ひます。洗車が始まり2ヵ月が経ちました。子供たちは率先して洗車を行っています。継続は力なり。この流れを子供と職員が一緒になって続けていきたいと思ひます。



ホームだより

あおぞらホーム

保育士 竹内貴裕

6月に入り、目を追うごとに温かさが増し、だらけた生活になるのではないかと私の心配をよそに、あおぞらホームの児童は暑さなど吹き飛ばすくらい毎日元気よく生活しています。しかし、最近までは朝と夜の寒暖の差が激しく、体調を崩す児童も数名いました。

5月半ば、このあおぞらホームから一人の児童が退所になりました。退所予定日の夕食では卒園式とまではいかないものの、ちょっぴり豪華な食事の前にお別れ会を開きました。退所する児童に一人ひとりお別れ言葉、応援のエールが送られました。

あおぞらホームの児童が一人いなくなりましたが、球技大会を始め、これから本格的に行事がスタートしていきます。これからも今まで以上に元気よく生活を送れるように応援していきたいと思ひます。

まごころホームだより

保育士 竹田悠希

今年度が始まりあっという間に二ヶ月が過ぎ、今では夏日をも軽く越えてしまうような少し暑い日々が続いておりますが、子どもたちはその暑さにも負けず一生懸命元気に生活しています。五月上旬から寒さと暑さの体調管理がうまくできず、幼児さんや小学生の中で体調を崩してしまう子が増え、ホームの中で胃腸炎が流行してしまいました。胃腸炎になってしまった子は、おかげも少量しか食べられず寝たきりになってしまい、体力的にも精神的にもダウンしていましたが、今では園

内保育に出たり、学校に行けたりなど元の元気で活発な様子が見れて、とても嬉しく感じています。また最近では小学生、中高生と別々で球技大会の卓球を練習しています。私は小学生の卓球を担当していますが、子どもたちは学校から帰ってきて時間になると、「卓球行くよー」と声を掛け合っています。一年生は球あげから苦戦しており、うまくいかず諦めてしまうこともある反面、少しずつできる回数が増え、卓球を楽しんでいる子もいます。職員に褒められることでやる気が出てきているので、どの子にも目を向け、「暑い中、学校の勉強も卓球も一生懸命頑張っているよね」と頑張っている様子を認めながら、疲れていたら話を聞いて卓球以外でもサポートしていけたらなと思ひます。球技大会まで、今以上に気温は上がり暑さによってはバテやすくなってしまうかもしれないが、休む時はしっかり休み、ごはんもしっかり食べ、暑さに負けないような体づくりをしていきたいと思ひます。それと同時に、体調管理には気をつけて生活していきたいです。



今年の野菜作り

園務 青木稔七

野菜の苗を植える季節となりました。

始めはジャガイモです。幼児さんが植えています。ワイワイ、ガヤガヤ、楽しそうに始まりました。芽のあるところを見つけ、大事そうに砂をかけています。先日芽の出たのを、みんなで確認し、喜んでいました。その後、一緒に草取りもしました。大きいお芋がたくさんとれるといいなあ。

ナス、トマト、キュウリ、ピーマン、サツマイモの苗も植えました。手やシャベルで穴を掘り、先生の手を借りて、汗をかきながら、嬉しそうに楽しそうに、目を輝かせ、みんなが頑張ったおかげで、あっという間に終わってしまいました。

雨が少なく、野菜もどうなるか心配をしたら、先日の雨で生き生きとなりホッとしています。時々子ども達に野菜の成長と変化を見てもらい、何かを感じる事が出来れば嬉しいと思ひます。自分たちで作った野菜を採って食べるとき、いろんな形のものがあるかと思ひますが、どんな表情をして食べるのか、今から本当に楽しみです。

春、夏、秋と季節の野菜作りを頑張って、新鮮で安全な野菜を作って行きたいと思ひます。





* 5月生まれのSくんのお誕生日会 *

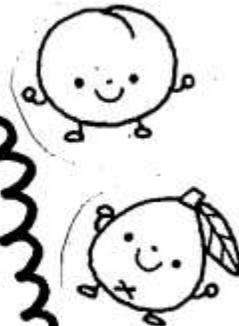


* 5月16日は今年度初めての誕生日会が行われました。昨年は調理の先生方にも協力してもらい、倉庫を兼ねた調理実習を行っていましたが、今年も子ども達でも簡単な「デザート作り」をやることにしました。今回はみんなでフルーツに挑戦!! フルーツに盛り付けるバナナを人箱士と一緒に手で切ったり、ボールに入れた牛乳とフルーツを一歩懸命混ぜていました。おいしいデザートが完成した所で誕生日会下月です。お誕生日を迎えたSくんにはおめでとうの前に出して貰い、インタビュー。大きい声で発表することができました。その他はみんなで「ハッピーバースデー」の歌をプレゼントしました。おいしく作ったデザートもみんなで食べるとも楽しい時間を過ごすことができました!!

Sくん お誕生日おめでとうをたくさん食べて大きくなってね

お誕生日インタビュー

- * すきな食べものは? 『おにくさあ』
- * すきなどうぶつは? 『ぞうさんです』
- * おおきくなったうなにならいたい? 『トッコウゾーレッドです』



こいのぼり

「やねより たがい こいのぼり〜♪」
5月は、子どもたちの元気な歌声が響き、その歌声を聞きながら、保育園でも大きな大きなこいのぼりが楽しそうに泳いでいます。

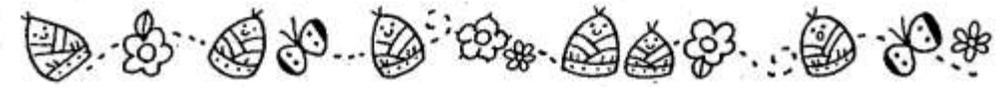


ある日、園内保育にも、こいのぼりがやって来ました。でもなぜか悲しそう。話を聞いてみると、そのこいのぼりは体が真っ白で、もともと素敵な体になりたいみたい…。それを知った子どもたちは「きれいにしてあげる!!」と張り切りました。赤・黄・青・緑の絵の具を自分の手につけ、こいのぼりの体をペタペタ。白い所を見つけてはペタペタ。とても楽しそう。こいのぼりもおきれいになって大満足!! 園内を元気に泳いでいます♪

野菜のお世話



4月に植えた「じゃがいも」に加え、5月には「きゅうり」「なす」「とまと」「さつまいも」を植えました。畑は、園から少し歩いた所であり、すぐに様子を見ることのできない分、「おおきくなるかな?」「さう、はえてきちゃってるかな?」と気にかける姿があります。先日、保育者が「今日は畑に行こう!」と提案すると、年長児から「あめがたくさんふったから、おおきくなるかもめない!!」という声。なるほど!! 水々のお世話をしたことで学んだのですね!! 感心な早速、畑へ! 「わあー!! おおきくなる!!」数日前に比べ、じゃがいもは苗が伸び、葉も増え、青々とし、なすは花を咲かせ、きゅうりは小さな小さな実をつけていました。それを見た子どもたちは、なすと同じ紫色の花が咲いていることに驚いたり、「あかちゃんきゅうりがある♡」と目を輝かせたり、とても感激しているようでした。これからの野菜の生長が、更に楽しみになりました♡



防災訓練

防災係 酒井悠紀

当園では月に一度、避難訓練を実施しています。

5月18日(日)の参加者は職員を含め、38名。さて38名の児童が避難するのに一体どれほどの時間が掛かるのでしょうか。下は幼児2歳から高校生までもが参加している避難訓練、今回は全員の避難と、点呼、報告までを含め2分8秒で完了しました。このタイム、皆さんはどう感じられるのでしょうか。私は率直にすごいと思っています。以前はだらだら避難してきたり、部屋から出るのが面倒くさいとサボったり、そんな状況もありました。今は違います。大きな子は小さな子の手をとって避難してきます。職員が点呼しなくても子ども達がまず点呼をします。毎月毎月の成果が形として現われていることを実感します。

いつ起こるかわからない災害に備え、日々訓練です。

調理室だより

調理員 武田絵里子

5月のある土曜日、今年も小学生を対象とした草だんごづくりをしました。

草班と団子班の2チームに分かれ、それぞれの班で協力しながら進めていきます。

白玉粉と上新粉を混ぜ、水を入れながらこねていき、さらによもぎを加え、均等になるまで混ぜていきます。そして、好きな形に丸めお湯の中に入れ、浮いてきたらすくいます。



それぞれの過程で、こねるのがとても上手な子やよもぎの匂いに反応する子、浮いてきた団子に感動する子、時々もう片方のチームの進み具合が気になってそわそわしている子など、様々な様子を観ることができました。

なにより、最初から最後までみんなで協力しながら作っている姿に感動しました。

みんなで作った草団子は、どこにも負けなくらい美味しく、ペロッと食べてしまいました。1年に1回しかない草団子作りを協力して楽しくできたことに私も嬉しかったです。

法人役員会を終えて

庶務 傳田 義晴

去る5月30日当園(円福寺児童福祉センター)会議室に於いて11名の役員さんと監事さんのご出席を頂き役員会が行われました。当日は予定された議案が滞りなく承認され法人役員会を終えることができました。議案は次の通りです。

第1号議案 平成25年度事業報告

第2号議案 平成25年度本部会計決算認定

第3号議案 平成25年度円福寺愛育園決算認定

監事さんによる監査報告

平成25年度事業報告は園長より説明致しました

1. 児童の入退所を含めた在園児童の状況
2. 卒園児の進路(就職)および生活の状況
3. 児童全員で取り組む「日課」の様子
4. 25年度園内行事(益々充実)
5. 連盟関係行事(球技大会・運動会では好成績)
6. 65周年記念事業の実施 その他 地域交流、園内保育など
7. 職員の退職者・採用の状況および職員体制 愛育園の課題



母の日に、子ども達は女性職員に手作りのアロマキャンドルとハンカチのプレゼントをしました。

その後、昨年一新された好評の「愛育園ホームページ」をプロジェクターを使用し役員の皆様に解説つきで見せて頂きました。平成25年度本部会計・円福寺愛育園決算内容については傳田が説明しました

1. 入所児童数の改善が見られ収入額は前年増
2. 人件費、事務費、事業費とも前年比増
3. 平成25年度も収支状況が良く健全な決算内容

当園役員の皆様には、お忙しい中ご出席頂いた上、毎回貴重なご意見やご提案を頂き、そのことが園の運営に活かされており、改めて感謝とお礼申し上げたいと思います。

5月になって大きな鯉幟が揚がりました。子ども達が鯉幟と戯れています。

